

鎌倉地区産業廃棄物対策協議会

かいほう

NO.35



東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技が、1964年の東京オリンピックから時を経て、ふたたび藤沢市の江の島ヨットハーバーで開催されます。

目 次

○巻頭言.....	1	○企業紹介.....	6
○神奈川県からのお知らせ.....	2	○事業報告.....	6~7
○鎌倉市からのお知らせ.....	3	○編集後記.....	7
○研修見学会報告.....	4~5		

巻頭言

「一年を振り返って」

鎌倉地区産業廃棄物対策協議会

会長 澤村 誠

(株)鎌倉ハム富岡商会



春暖の候、会員の皆様におかれましては、益々の活躍のこととお喜び申し上げます。平素より当協議会事業の運営につきましては格別のご支援、ご協力を賜り心からお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、令和が始まる天皇陛下の御即位があり、日本中が熱狂と興奮に沸いたラグビーのワールドカップの開催、台風15号、19号による大きな被害など色々な出来事がありました。

近年、食品ロスについては国際連合で採決された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で定められている「持続可能な開発目標」(SDGs)のターゲットの1つに2030年までに世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減されることが盛り込まれ、食べることができるのに廃棄される「食品ロス」は世界で年間13億トン、日本では同653万トン(2016年度)、このうち事業系が352万トン、家庭系が291万トン発生と推計されており、昨年5月に参議院本会議で全会一致により食品ロス削減の推進に関する法律が成立しました。さらにマイクロプラスチックによる海洋汚染も2030年までに重量濃度が現在の2倍と推測されるなどの問題が起こっております。このような問題に対しても廃棄物を資源やエネルギー源として有効活用することが不可欠であり、持続可能な社会の形成は、消費者、排出事業者、処理業者の皆様との協力、連携がなければなしえないと考えます。

当協議会も消費者、排出事業者、処理業者の皆様と連携してリサイクル率向上に取り組んでいきたいと思っております。引き続き廃棄物の排出量の削減とリサイクル率の向上にご協力をお願いいたします。

最後になりますが、当協議会と会員各事業所の益々のご活躍とご発展をご祈願して、会誌のご挨拶とさせていただきます。

神奈川県からのお知らせ

高濃度PCB廃棄物、使用製品の 処理期限が間近に迫っています！！

1. PCBの処分には、事前の確認が必要です

PCB廃棄物の処分については、濃度により処理期限が異なります。濃度が不明の場合は、事前に分析を行って下さい。(機器に取り付けられた銘板から濃度を判別できる場合もあります。)

高濃度PCB廃棄物 処理期限 2022年3月31日まで
(照明器具の安定器・汚染物等については、2023年3月31日まで)
低濃度PCB廃棄物 処理期限 2027年3月31日まで

2. JESCOへの登録はお済みでしょうか？

高濃度PCB廃棄物の処理はJESCO(中間貯蔵・環境安全事業株式会社)で行っています。神奈川県の処理期限は、使用をやめた高濃度PCB廃棄物だけでなく、使用中の高濃度PCB使用製品に対しても適用されます。なお、処理を依頼する際、JESCOへの機器登録が必要になりますのでご注意ください。(使用中の高濃度PCB使用製品も機器登録できます。)

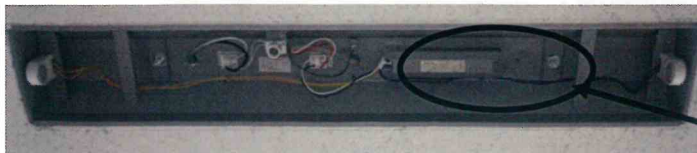
この機会に貴社の高濃度PCB廃棄物・使用製品の登録状況をご確認ください。

JESCOのホームページ (<http://www.jesconet.co.jp/>)

3. 照明器具の安定器の高濃度PCB含有の有無は確認しましたか？



カバーを外すと



これが照明器具の安定器

(注：写真は一例です。写真の安定器にはPCBは含まれていません。)

照明器具の安定器にも高濃度PCBが含まれている可能性があります。安定器は、電気工作物に当たらないため、高濃度PCBを含む安定器の発見が遅れるケースが見られます。貴社の事務所等に設置されている照明器具の安定器に高濃度PCB使用製品が含まれていないか、今一度ご確認をお願いします。(詳しくは、各メーカーに問い合わせるか、(一社)日本照明工業会ホームページをご覧ください。)

★本記事の内容全般に関する問い合わせ先

神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター環境部環境課 046-823-0377 (直通)

鎌倉市からのお知らせ

日頃から、ごみ処理施策にご協力いただき、御礼申し上げます。
鎌倉市は環境負荷の少ない「循環型社会」を形成するため、市民、事業者、行政が連携・協働して3Rを推進し、「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現を目指しております。
皆様もぜひご協力くださいますよう、お願いいたします。

■事業系ごみの分別および減量にご協力をお願いします。

事業系ごみの減量には、3R（リデュース、リユース、リサイクル）を実践することが大切です。排出事業者の皆様にもお伝えいただき、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

1. ごみの分別を徹底しましょう。

市の焼却施設に搬入された燃やすごみの中には、「紙類」などの資源物や「プラスチック類」などの産業廃棄物が未だ多く混入されています。分別をすることは、資源の有効活用、そして処理における環境負荷の低減などにつながります。

2. ごみを減量しましょう。

皆様のご協力のおかげで、事業系一般廃棄物の焼却量は年々減少しております。
(平成29年度：10,533トン → 平成30年度：9,954トン)

ごみを減量することは、地球環境を守るだけでなく、処理費用の削減といったコスト面でのメリット、また、環境に配慮した事業所としてのイメージアップにもつながります。

3. 食品ロスを減らしましょう。

令和元年（2019年）10月に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行されました。

食品ロス削減に向けて、食品再生事業者やフードバンクなどの活用をご検討ください。

■給水スポットを市内各所に設置します。



本庁舎内に設置されたウォータースタンド

浄水なので、赤ちゃんのミルクにも使えます。マイボトル持参でご利用ください。



鎌倉市は平成30年（2018年）10月に「かまくらプラごみゼロ宣言」を発表しました。

民間企業と協定を締結し、使い捨てプラスチック製品の削減への取り組みの一つとして、令和2年（2020年）2月10日にウォータースタンドを市役所本庁舎1階ロビーに設置しました。さらに、3月末（予定）までに公共施設など約50箇所設置する予定です。

また、鎌倉駅西口公園にはウォーターステーションが設置される予定です。

研修見学会報告

日産自動車(株) 追浜工場、光洲ファクトリーYOKOHAMA BAY 研修見学会

■研修日 2020年2月12日(水)

■参加者 15名

■共催 鎌倉商工会議所工業部会

今回の研修見学会は、まず日産自動車株式会社追浜工場(横須賀市夏島町)を訪問しました。例年とは違った暖冬が続く中この日も2月にしては暖かく、屋外でバスを待つ間もさほど震える寒さではありませんでした。

昨年は渋滞により時間が押していたのに対して、今回は渋滞もなく予定よりも30分程早く工場に到着しました。しばらくの間、ショールームに展示していた電気自動車のノート・リーフやGT-Rをじっくり見ながら、予定の時間まで過ごせたのが嬉しく思いました。工場見学の前に、プレゼンルームにて日産自動車の紹介や、追浜工場の説明をしていただきました。リーフは電気自動車でありながら災害時には電気を供給することができ、工場ではコンパクトカーを主体にノート・リーフ・シルフィを生産しているとのことでした。

工場見学では3種類の自動車を、1本の生産ラインで混在して製造しているのを見ることが出来ました。各工程では、車体の中に入る作業や車体の下に潜る作業などがありましたが、作業者が屈んだりするのではなく、ラインが高さ方向に上下することで作業者の体の負担が少なくなるような工夫がされています。また組み込む部品は作業者が取りに行くのではなく、無人台車にて運ばれて来ており、このように作業者への負担を少なくするような改善がされていました。自動車にはたくさんの部品を組み込む作業があるにも関わらず、一つのラインで色々な車種に対応する技術に感銘を受けました。

日産自動車(株) 追浜工場を後にして、昼食をキリンビール横浜工場のレストランビアポートでバーベキューを楽しみました。スケジュールの都合で30分ほどの短いラン



チタイムではありましたが、ボリューム感のある野菜と肉を食べることが出来たので、満足した状態で次の光洲ファクトリーへ向かいました。

横浜市神奈川区にある「光洲ファクトリー YOKOHAMA BAY」は、建設系混合廃棄物の高度な処理選別技術を導入したプラント設備を主体とし、その他、木くずのチップ燃料化設備、数種の処理サイクル機器で構成された大型産業廃棄物の中間処理工場です。延床面積が2万5千㎡あり、元々は大手百貨店の物流倉庫であった建物を増築しており、中間処理工場としては屋根がある貴重な造りであり、雨天時でも濡れずに処理が出来るのが特徴です。

場内には大きな機械が廃棄物の粉碎や素材の選別を行っており、分別された処理材は97%がリサイクル品として利用されていることに驚きました。現場は選別・破碎・粉碎にて発生した砂埃や塵が大量に発生していますが、屋内型の建物のメリットを活用して近隣に飛散しないよう配慮していました。

場内の見学を終えた後、施設内にある「安全体感教室」にて疑似的に災害体験を実施しました。体験した内容は、「駆動ベルトへの巻き込まれ」「回転体への巻き込まれ」「低速回転による回転体巻き込まれ」「トラッキング火災」「2m落下」「悪路状態での歩行」であり、どれも規模的には小さい設備ではありますが、災害が発生するときの咄嗟では逃げられない体験をする事が出来ました。

今回、先端設備を備え製品を造り出す日産自動車追浜工場と、作業環境が決して良くはない中で廃棄物の処理をする光洲ファクトリーの両社を見学することで、我々も廃棄物を如何に減らすことができるか、出さないようするかをあらためて考える良い機会になったと感じます。

最後に有意義な見学会を企画いただいた鎌倉商工会議所工業部会様、日産自動車(株)追浜工場・光洲ファクトリーでご対応いただいた皆様に感謝申し上げます。

最後に有意義な見学会を企画いただいた鎌倉商工会議所工業部会様、日産自動車(株)追浜工場・光洲ファクトリーでご対応いただいた皆様に感謝申し上げます。



東レ(株) 基礎研究センター 加藤 恒

企 業 紹 介

NASLUCK

ナスラック鎌倉工場では、たゆまぬ技術開発と徹底した品質管理のもと、業界最新鋭の設備と技術を駆使してお客様に喜んでいただける商品を、より良く、より安く、よりタイムリーに創り出しております。

賃貸住宅向けの「コンパクトキッチン」や、「洗面化粧台」の製造も行なっており、ナスラックの水まわり商品における最大規模の工場となっています。



神奈川県鎌倉市岡本1500-15 tel:0467-46-4131 <https://www.nasluck.co.jp>

事 業 報 告

平成31年 4月19日 (金)

◎平成30年度収支決算監査

会 場 菱栄テクニカ(株)、(株)中川電機製作所 (事務局の持ち回りにて)

令和元年 5月24日 (金)

◎正副会長会議 (午後 3時～)

◎理事会 (午後 3時30分～)

◎第40回定期総会 (午後 4時～)

◎講演会「将来のごみ処理体制についての方針・かまくらプラごみゼロ宣言について」
(午後 4時30分～)

会 場 鎌倉商工会議所

◎交流会 (午後 5時30分～)

会 場 北斗七星

令和元年 8月27日 (火)

◎令和元年度 会員名簿を会員事業所に配布

令和元年12月16日 (月)

◎正副会長会議 (午後3時～)

◎広報部会 (午後3時50分～)

◎理事会 (午後4時30分～)

会 場 鎌倉商工会議所

令和2年 2月12日 (水)

◎研修見学会

視察先 日産自動車(株) 追浜工場

光洲ファクトリーYOKOHAMA BAY

◎交流会 (研修見学会 終了後)

会 場 新海

編 集 後 記

2020年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。鎌倉市に隣接する藤沢市・江の島ヨットハーバーがセーリング競技の会場になっていますので、会報誌の表紙にセーリング競技の写真を掲載しました。江の島も含め世界中の海で海洋ごみが問題になっています。その中でも特にペットボトルやレジ袋など日常生活で発生するごみが問題で、海洋ごみの8割を占めていると言われていています。海洋生物はもちろん、人間にも悪影響を及ぼす海洋ごみの増加に歯止めをかけるため、鎌倉市も「かまくらプラごみゼロ宣言」を行っています。使い捨てプラスチックの使用廃止など企業の取組はもちろんですが、毎日の暮らしの中でできるだけごみを出さない、使い捨て商品ではなく、再利用が可能な商品を選ぶなど個人の取組も重要です。会報誌では、当協会の活動内容をお伝えするとともに、鎌倉市のごみ削減の取組などの情報も掲載し、会報誌がより有効に利用いただけるように努力してまいります。

広報部会長 岸 靖浩 (中外製薬(株)鎌倉研究所)

〈 広 報 部 会 〉

中外製薬(株)鎌倉研究所

岸 靖浩

(株)鎌倉ハム富岡商会

澤村 誠

デンカ(株)大船工場

森 岳夫

ナスラック(株)ナスラック鎌倉工場

尾崎 直也

三菱電機(株)情報技術総合研究所

田中 清